

留萌市史……⑥

借金に苦悩した町長たち

町長など三役を含めて総計二十七人であった。

大正十二年九月、荒木町長が辞め、同年十月、八代町長に村本初太郎が就任した。

この時代も町債による大留萌建設工事に追われた時であった。

また、当時の日本は、戦争（第一次世界大戦）による好景気が終り、その反動期に入って財界は不景気がますます深刻となりつつあった。

ちょうど、この年の九月一日には関東大震災が突発したため、留萌築港の工事配分も削減されるなど影響を受けた。

借金に苦悩した

歴代町長たち

「港づくりりに影響を受けた関東大災」

大正十年、七代町長に就任した荒木町長は、前野本町長のたてた計画を進めた。

大正九年に議決された町債により留萌川の切替え、留萌川の埋立副港の造設など市街地計画に着手した。

大正十四年、この年の六月は生命保険会社十四社から借りた約二百五十万円（昭和三十五年ごろで十億円近く）の町債の償還期間であったが、償還が不可能な状態におちいり、留萌町には暗い気分が低迷した。

当時、村本町長は、債権者生命保険会社の厳しい催元に苦悩し、地元有志と弁解につとめたが、町

債の解決案を見い出すことなく、十四年十一月に退職した。

その後、半年間は町長不在が続き大正十五年五月、留萌町九代目の町長として小林正義が就任した

その後、小林町長は町債問題についての善後策をたてた。

それは、この町債には政府にも大きな責任があるので、大蔵省預金部または北海道地方費か拓殖銀行が留萌町に資金を融資するという案をたて、努力したが思うようには進まず苦悩した。

昭和三年十月には、小林町長が退職し、翌四年一月、留萌町十代目の町長として樫田三郎が就任した。

樫田町長は、上京の度に債権者である保険会社へ出向き、償還の弁解につとめたのである。

また、解決法としては前小林町長と同じく借替案を進めた。

結局、大蔵省も折れ、大蔵省が北海道庁に貸し、道庁が留萌町に貸すという案を提示した。

ところが、道会が未解決のうち

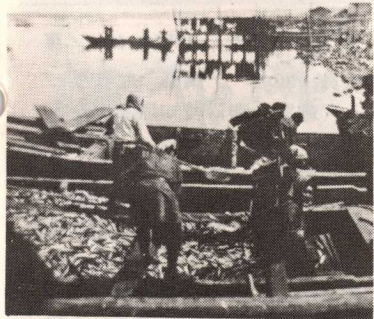


昭和初期の留萌市街地

に内閣が変わり、道庁長官の交替により池田長官になったため、この借替案も振出しに逆もどりしてしまった。

この町債問題が解決されたのは道庁長官に佐上信一、留萌町十一代目の町長に赤石忠助が就任した後の昭和九年六月、東京の佐上宅において町債問題解決の仮調印がなされた。

当時のニシン場風景



図書館案内

- 〈小説・随筆〉
- ／アメリカひじき 野坂昭如／ムツゴロウの結婚記 畑 正憲／日本漂流記 五木寛之／おとうと
 - 吉田 文／吹雪の空白 水上 勉
 - ／輪環 瀬戸内晴美／かまくら三
 - 国志 平岩弓枝／結婚の夜 有馬
 - 頼義／ベルリン漂泊 柏原兵三／
 - 青春の宿 李恢成／一銭五厘の旗
 - 花森安治／湿った空乾いた空 吉
 - 行淳之介／自立の思想 高橋和己
 - ／レイテ戦記 大岡昇平／青年の
 - 輪 野間 宏／考えなおすヒント
 - 大和勇三／白い糸で縫われた少女
 - ガロウ／愛の車輪 キヤロル・
 - オーツ／妻の日の愛のかたみに
 - 池上三重子／詩集 バイロン他
 - 〈実務・教養〉
 - ／六法全書47年版／ママの血液型
 - ／黄色い赤ちゃんを生まないため
 - に／被差別部落の伝承と生活／ユ
 - ダヤの商法 藤田 団／英文タイ
 - プの打ち方／女の子の躰け方 浜
 - 尾 実／レタリングの実技／昭和
 - 教育史への証言 海老源治善／第
 - 二創世記 ローゼンフェルト／趣
 - 味・やきものをつくる／日本の道
 - シリーズ 毎日新聞／世界旅行あ
 - なたの番／たのしい野菜づくり／
 - ベットの飼育事典